

## 平成 27 年度 第 4 回 市長と語ろう！ タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 27 年 6 月 24 日（水） 午後 7 時～9 時

開催場所 笠間市役所 教育棟 2-1. 2-2 会議室

参加者 36 人

### 《タウンミーティング（意見交換）》

- 1 地方創生の予算について
- 2 畜産試験場跡地について
- 3 行政区の運営について
- 4 雇用について
- 5 子育て環境について
- 6 奨学金制度について
- 7 農業の強化について
- 8 企業誘致について
- 9 移住について
- 10 地元業者の振興について
- 11 生活道路の維持管理について
- 12 商業の振興について
- 13 子育て環境の考え方について
- 14 農業の P R について
- 15 農業機械のリースについて
- 16 産婦人科について
- 17 がん検診について
- 18 授業参観について
- 19 笠間小学校の道路状態について
- 20 かさま国際音楽アカデミーについて
- 21 統廃合された学校の利活用について

### 1 地方創生の予算について

#### 【意見等】

地方創生に関わる予算はどうなっているのか。

#### 【回答】

地方創生総合戦略のプラン策定で 1、000 万円の予算があります。実際の事業費は交付金で分配され、それがいくらなのかは明確には提示されていません。ここが、全国の市

町村が困っているところです。

## 2 畜産試験場跡地について

### 【意見等】

畜産試験場跡地は何になるのか私達は知らない。笠間は歴史と文化、芸術の街であるので、映画の撮影所にしてはどうか。今は高校にも芸術科がある。日本の映画の都にしてはどうか。

### 【回答】

畜産試験場跡地は県有地です。県も雇用の確保及び税収の確保が非常に重要と考えています。現状は排水整備工事を進め、企業誘致に力を入れていて、いろいろな企業が興味を持っているようです。市も焼き物、稲田石など地場産材を使って観光などにつなげ、雇用の確保を目指していきたいと思います。撮影所を造るのは難しいですが、映画やテレビの撮影は、フィルムコミッションを通じて市内で行われています。つい先日も、テレビのロケが、閉校になった箱田小学校で行われました。

## 3 行政区の運営について

### 【意見等】

行政区を抜ける人がいる。住みよいまち・訪れてよいまちを目指して、具体的な策をみんな考えていく必要がある。

### 【回答】

人口動態は友部地区が微増、笠間地区は落ち込みが激しく、岩間地区は若干減少しています。これは友部地区の立地条件がいいからだと思っています。行政運営は行政区の区長を通じて図っています。ある行政区は、高齢化でコミュニティを維持できない。別の行政区では会費を払ってくれない。転入しても行政区に加入してくれない。そこから地区の清掃ができなくなったり、お祭りができなくなったりしてきます。この課題をどうしていくかということで、もう少し広いエリアで運営していくことができればと思っています。今年からモデル地区を指定して実施していく予定です。

## 4 雇用について

### 【意見等】

笠間市は人口の減少が進んでいる。これを止めるのは働く場所の確保だ。昔に比べ笠間市は静かになってきてしまっている。みかげ石は中国に押されてしまっている。今後どうやっていくかは、働く場所の確保でそれが少子化対策に繋がっていく。

**【回答】**

働く場所の確保は重要だと思っている。茨城中央工業団地や畜産試験場跡地に企業誘致を進めています。そのような中で、茨城中央工業団地には1社の誘致が決まりました。これと呼び水にして、誘致を加速させていきたいと思っています。

**5 子育て環境について**

**【意見等】**

保育所などの整備が必要である。環境整備で女性が働きやすくなる。

**【回答】**

子育ての環境整備は重要だと思っています。笠間地区に認定子ども園を整備していきます。また、1番は待機児童の問題です。笠間市では、その時々で待機児童数に変化が生じています。昨年度は20数名の待機児童が最大でした。これを解消するために定員拡大を図って行きます。更には、妊娠、出産、子育ての相談を包括的に実施する子育て世代包括支援センター「みらい」を県内で1番早く設置し、子育て世代を応援していく取り組みを始めています。

**6 奨学金制度について**

**【意見等】**

貧困家庭の問題で市では独自の奨学金制度は行っていないのか。

**【回答】**

市独自の奨学金制度は行っておりませんが、民間の制度を紹介したことはあります。これからも福祉部門と連携しながら、いわゆる貧困家庭の支援を行っていきます。

**7 農業の強化について**

**【意見等】**

農業が重要だと思う。若い人が農業に参入しなければ先は無い。農業を強化しなければ人口も減る。

**【回答】**

農業も立派な産業だと思っています。笠間市でも70人程度の新規就農者がいます。親の後を継いだ人もいるし、新規で始めた人もいます。規模の拡大を図っていくことが基本だと思っています。これからの農業は、1,000人が携わってきたとしたら、雇用の面で考えると相反するかもしれませんが、規模拡大を図って、50人か100人で行うように集約して行くことが基本だと思っています。専業農家をしっかり支援していくというの

が市の考え方で、地方創生の観点からも大変重要だと思います。

## 8 企業誘致について

### 【意見等】

企業誘致について、業種は考えているのか。また、誘致によって、雇用が増えると思うので、そこから人口増加に結び付けられる。もっと積極的に企業誘致を図ってもいいと思う。

### 【回答】

工業団地以外のところで、工場や大型店が進出したというのは結構ありまして、大体36ヘクタールぐらいになります。商業施設もあるし、一般の製造業もあります。茨城中央工業団地と畜産試験場跡地では雇用の拡大が図れ、周辺に余り迷惑がかからない企業を中心に営業しています。企業からすると地盤、水の確保などいろいろな面から見ていますので、よく勘案しながら誘致活動をしています。笠間の状況だと業種を選択している余裕は無いと思っていますので、早い段階で進出してくれる企業は積極的に受け入れていきたいと考えています。

## 9 移住について

### 【意見等】

近所に年配の方が引っ越してきた。理由は、大きな病院もあって、医療的な対策もかなり進んでいるからと言っていた。ぜひ年配の方だけが転入してくるのではなく、若い世代が転入してくるようなアドバイス、援助をしてあげたら、もっと住みよい笠間ができると感じた。

### 【回答】

友部地区は、県立中央病院、市立病院などのほか、開業医の先生方がたくさんいるので医療資源としては非常に恵まれた地域です。それを安心材料として、移り住んでくる方がいるのも確かだと思います。ただ、若い世代をとというのは、難しい面もあります。例えば、友部地区はアパートが多く、次にアパートが多いのは赤塚辺りです。我々は人の奪い合いをするわけではないですが、水戸に転出する人が非常に多いのでライバルは水戸になります。赤塚と友部のアパートでは金額的に変わらなく、家賃補助を出して、若い人に住んでいただくことも考えたときありますが、あまり度を過ぎると、今住んでいる人とのバランスがあります。そういうこともあって、具体的な事業に至っていません。いろいろな世代の方に住んでいただくことは大変重要だと思いますので、笠間の良さを積極的にアピールしていきたいと思っています。

## 10 地元業者の振興について

### 【意見等】

公共事業を行う場合には、市民の大切なお金ですから、入札を行い安い業者に仕事を与えることがいいのは分かる。しかし、雇用の視点から考えると、地元業者を大事にして、地元の人たちに働いてもらい、地元で納税する流れを作ることが必要だと思う。JV（ジョイント・ベンチャー）を組ませ発注することも一つの案だと思う。

### 【回答】

地元業者を優先するのは基本ですが、一方では競争力が働かなければならないという側面もあります。競争力をきちんと確保できるような形で地元からの調達の基本になって入札しています。全部地元で賄うというのは、難しい面もありますが、できるだけ地元調達を心がけていきたいと思っています。いろいろな考え方がありますので、工夫はこれからもしていきたいと思っています。

## 11 生活道路の維持管理について

### 【意見等】

生活道路の維持については、すべて市が行うということではなくて、自分たち市民ができる場所は、自分たちで行った方がいいかと思うが、合併前は行政が行っていた降雪時の雪かきなどは子育ての面から言うと、通学路は市が行ってもいいのではないか。お母さん方がこの街に来て、こういうサービスもしてくれるという一つのいい材料になると思う。

### 【回答】

子どもたちの安全確保という意味では大変重要だと思っています。昔あった行政サービスが無くなったということはあると思います。しかし、別な市民ニーズに応えるために新たな行政サービスを一方でスタートしているということもあるわけです。

市の予算も拡大から現状維持になってきた中で、行政サービス自体に変化があります。予算を使うのに何が有効的かということは、こういう意見の中で、よく耳を傾けて進めていきたいと思っています。

## 12 商業の振興について

### 【意見等】

自営業者の方が急激に減っている。大会社に負け、自営のリスクが大きいなどでやめてしまう。若者が地元に残って商業をすることは、税収も上がるし、街も活性化するのではないかと思う。

### 【回答】

一概にこうすればいいということは難しいと思いますが、個人の努力、工夫などで輝いている人は、笠間の中でもたくさんいます。もちろん廃業した人もたくさんいます。私が見て感じることは、同じ業種の人と違った売り方、PRの仕方など、そういうことをしている気がします。

### 13 子育て環境の考え方について

#### 【意見等】

待機児童、保育所、認定こども園の整備という声が叫ばれているが、子育てをしてきた女性の立場から言うと、子どもを預けて働きやすい環境というよりも、安心して家で子育てができる環境の方が大事だと思う。この10年で子どもがすごく様変わりしているというのが、現場で働いている者として実感する。

女性が働くということで納税額が大きくなると思うが、能力がある方は別として、普通に生活が大変だからということで働いている女性が多く、実際は生活のため、保育料のために働いているのでは本末転倒だと思う。安心して家庭で子育てができるという環境、保障という面でどうにかできないものかと日々考えている。妊娠出産をしたときなどに、保健センターで、親子の絆など信頼関係を啓発させるようなテーマで妊婦さん、新しくお父さんになった方たちに聞かせる企画をお願いしたいと思う。

#### 【回答】

現在、保健センターにおきましても、妊婦さん及びお父様にも来ていただき、マタニティ教室を実施しています。今年度4月から、出産までの間が手薄であったということで、子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦から子育ての相談という形で個別に応じています。今後もきめ細やかな皆様のご意見を頂戴しながら、各種教室の開催、それから家庭訪問も充実させていきたいと思っています。

市は、施設整備など環境の整備は当然していかなければなりません。一方で経済的なことを追求し、子育ては別に任せるといえることがあるとして、それが優先される日本社会で本当にいいのかと考えると疑問に思います。昔からよく言われます、2歳、3歳になるぐらいまでは、自分の手元で育てるのが本当の子育てだと。一方で、生活が苦しい、だから、子どもを預けて働いて、自分の楽しみも経済的な豊かさも追及していきたいという意見もあります。子育ては本当に親にとって楽しいということを教える精神的な話とか、心の支えとかが必要だと思いますので、よく考えていきたいと思っています。

### 14 農業のPRについて

#### 【意見等】

笠間は農業が主と思う。もう少し首都圏でPRして、空き家で宿泊し、家庭菜園的なことができるような取組みを進めて行ってもいいのではないかと。

### 【回答】

農業は一つの産業という位置づけで考えていく必要があると思います。この地域は米どころでもあります。友部地区の花弁は県内でもトップクラスです。ご承知のとおり、栗も生産量でいうと全国でもトップクラスの生産量を誇ります。趣味の延長で首都圏の方が笠間で農業を楽しむとか、貸し農園で楽しむというのがあります。これはこれで趣味の範囲で、本格的に農業を生業としてやっていきたいという新規の就農者もいます。そういう方々に対して、しっかりとした体験農業のようなことを指導しながら、本業につなげていくということが必要だと思っています。去年の12月に農業公社を立ち上げて、新規就農者の支援をしていく予定で進めています。

## 15 農業機械のリースについて

### 【意見等】

農地の集約だけでなく大型機械を導入し、リースするのも一つの方法ではないかと思っている。なかなか大型機械、設備投資をしたいと思っても、返済の目処が見つからないというのが実情。各農家においても、息子に農業を継がせることがなかなかできない。生活が成り立たない。農業公社ができたので、農家の意に添えるような方法を取ってほしい。

### 【回答】

農家の方の負担を軽減する方向での支援ということだと思います。農業公社では、忙しい時期に農業支援をする人材派遣、機械のリースなども含めて、現場の声を聞きながら進めていきたいと思っています。

## 16 産婦人科について

### 【意見等】

プレミアム商品券、子どもの医療費の還付はすごくありがたい。それから、健康増進課から送られるがん検診など健診のチケットもすごくありがたい。この歳になって、初めて知ったありがたい制度と思った。

しかし、笠間には産婦人科が1軒で、受診するのも、出産するのも、私も含めて周りの人は水戸市の産婦人科だった。それがとても残念だと思う。

### 【回答】

産婦人科がないというのは、いろいろな方からご意見をいただいています。笠間の課題というより、オール茨城、日本の医療の課題であります。ただ笠間は唯一根本産婦人科があること、県立中央病院が再開するということが、一つの救いと思っています。

県立中央病院は今年後半になりますが、本格的な再開にドクター確保の見通しが立っているようです。産婦人科を目指すドクターが少ないというのが、基本的な課題です。市立病院もという意見もありますが、市立病院で確保するのはかなり難しいです。その部分は県立中央病院に担っていただいて、市立病院では在宅の医療を中心に取り組んで行く考え方で進めています。

## 17 がん検診について

### 【意見等】

女性特有のがん検診が何回かあるが、いつも予約がいっぱいで受けられない状態が続いている。そこも残念だと思う。

### 【回答】

がん検診は、友部地区10日間、笠間地区9日間、岩間地区4日間ということで、計23日計画しています。受診者が少なくて再募集をしている状況です。どうしても後半に集中してしまうということが現状です。笠間地区だけでなく日程の調整ができましたら、友部保健センター、岩間保健センターでも受診することが可能ですので、受診していただければありがたいと思います。また、医療機関での実施も可能となっておりますので、ぜひご相談いただければと思います。

## 18 授業参観について

### 【意見等】

うちの子どもの学年は5クラスあり、ひとクラス35人いて、去年授業参観に行っても教室に入れない状態である。そこに小学校が統合したが、全然解消されてなくて廊下で見ている状態が続いている。

### 【回答】

7月に授業参観があるかと思いますが、少しでも改善されればいいと思いますが、逆に廊下から入らない方もいらっしゃると思います。積極的に教室に入って、お子さんの様子を見ていただけるのはありがたいことですので、整理していきたいと思っています。

## 19 笠間小学校の道路状態について

### 【意見等】

笠間小学校の周りは歩道も車道もガタガタで、通学するのに自転車も通るので大変危険だ。

### 【回答】



通学路については、舗装が傷んでいるところがあれば、我々もいろいろ巡回したりしているのですが、気がついたときに言っていただいで改善していきたいと思います。ただ、いろいろな手続きがあるので、時間がかかってしまうということもありますが、ご理解をいただきたいと思います。

## 20 かさま国際音楽アカデミーについて

### 【意見等】

クールシュベール国際音楽アカデミーがあつて、コンサートが開かれるが、公民館のピアノは一体何十年前のだろうというもので、そこが残念だと思う。研修センターに音楽を聴きに行こうという気に果たしてなるのかというのが、クールシュベールが始まってから感じていた。その辺の整備もした方がいいと思う。

### 【回答】

クールシュベール国際音楽アカデミーから今はかさま国際音楽アカデミーということにして、70人ぐらいヴァイオリンとピアノの研修生が来ています。できるだけ街の中で、コンサートを聞いてもらいましょうと、本庁、支所、パークスガーデンプレイスで行ったり、1人でも多くの方に来てもらうということでやっています。設備的にどうなのだと聞かれると、これは音楽を知っている人からすれば、完璧ではないのは事実だと思います。しかし、その条件の中で聞いていただくということで行っています。10数回続いていますので、少しでも音楽に対して関心を持っていただくという広がりを今後も取り組んでいきたいと思っています。

## 21 統廃合された学校の利活用について

### 【意見等】

統廃合された学校の利活用はどうか。

### 【回答】

統廃合された学校跡地の方向性は、現在検討しているところです。地元の意見も聞きながら、進めていきたいと思っています。方向性が出たら地元にお示ししていきたいと思っています。